

2025年版JWAFカレンダー

掲載写真が選出されました！

7月8日、全国連盟事務所にて、来年のJWAFカレンダーの写真選考が行われました。会員みなさんから思い思いの写真を自由に応募いただき、総数208点から、表紙を含めた13点が選出されました。

カレンダーの体裁は、2024年版と同様にB4サイズ・中綴じ28頁で、曜日の並びは会員から寄せられた意見を反映し、「日曜はじまり」に変更します。カレンダーには各地方連盟の連絡先を掲載しています。定価1,000円(税込)で、申し込みの詳細については10月頃のご案内します。



表紙



1月



2月



3月



4月

選考所感 小松由佳(ドキュメンタリーフォトグラファー)

今年も迫力あるたくさんの写真の応募をいただき、うっとりするような作品の数々でした。その中でも、視点の面白さ、捉えている光の美しさ、物語を感じるかという点から選考をさせていただきました。

表紙は、奥穂縦走路から臨むジャンダルム。作者の胸の高揚感が伝わってきます。

一月は、白馬三山をバックにした雪景色。抜けるような青い空と白い雪のコントラストが美しい一枚です。二月は、空に聳えるどっしりとした1839峰。存在感ある一枚です。三月は、春の到来の喜びを感じさせる一枚。黄金色に色づいた里山での、作者の驚きと興奮が伝わってきます。四月は、朝日に照らされた北穂高岳。残雪期の山の美しい朝を捉えています。五月は、蝶ヶ岳から見た安曇野。まさにこの瞬間、この場所でしか見ることのできない奇跡のような瞬間を捉えています。六月は、ミヤマキリシマの花咲く平治岳。鮮やかなピンク色に胸が躍ります。七月は、スッカン沢での沢登り。しっとりした沢の雰囲気ユニークな視点で捉えた、涼しさを感じる一枚です。八月は、白山の夏。咲き乱れる花々と山の緑に夏らしさを感じます。九月は、宝永山。独特の自然景観を色彩豊かに捉えています。十月は、秋田駒ヶ岳から臨む岩手山。「紅き大海に浮かぶ岩手山」というタイトルにもうっとり。息を呑む一枚です。十一月は、剣山。クマザサ帯に差し込んだ美しい光を捉えています。十二月は、北八ヶ岳。雪の乗った木々や山肌に、冬山の空気感が伝わってきます。

いずれも、山の個性と、作者の独自の視点とが伝わってくる素晴らしい写真でした今年もたくさんの応募をいただき、どうもありがとうございました。



5月



6月



7月



8月



9月



10月



11月



12月

	作品名	山名	撮影者	所属会
表紙	憧れの岩稜	ジャンダルム	北村浩嗣	長泉麗峰山の会/静岡
1月	雪雲の抜ける白馬三山	白馬岳・杓子岳 ・鑓ヶ岳	漆崎隆之	十日町おだまき山の会/新潟
2月	聳える 1839 峰	1839 峰	馬場晶悟	札幌中央勤労者山岳会/道央 帯広勤労者山岳会/道東
3月	黄金色の里山	東海自然歩道	福原みさよ	あさぎり山の会/静岡
4月	春の朝日を浴びる北穂高岳	北穂高岳	久保田純子	浜松勤労者山岳会/静岡
5月	安曇野の春	蝶ヶ岳より	岩田信一	茅野労山しらびそ山の会/長野
6月	天空の絶景	平治岳	三浦紀子	大分勤労者山岳会/大分
7月	真夏の楽しみ	栃木県スッカン沢	岡孝雄	プリムラ山の会/東京
8月	「加賀白山」夏山讃歌	白山室堂	宮本勇	山陽カルチャーマウンテンクラブ/岡山
9月	宝永山の秋	宝永山	橋本紀美子	太田ハイキングクラブ/群馬
10月	紅き大海に浮かぶ岩手山	秋田駒ヶ岳	黒須敦司	カモの会/神奈川
11月	道	剣山	林弘幸	須磨勤労者山岳会/兵庫
12月	雪に覆われた坪庭と北八ヶ岳の 南方を遠望する	北八ヶ岳	大友津代	みやぎトレッキングクラブ/宮城

作品名は未確定